

きになる梨情報



みんなで進めよう
茨城農業改革

号外 平成 29 年 7 月 26 日 県南農林事務所 経営・普及部門(土浦地域農業改良普及センター)

関東甲信越で 7 月 19 日に梅雨明けが発表されました。今年の梅雨は降雨量が少なく、梅雨明け後も高温・乾燥が続いているため、ハダニの発生に注意しましょう。

薬剤防除誤使用

※薬剤の選択にあたっては、昨年の収穫後からの薬剤散布履歴を確認し、年間使用回数に十分に注意してください。また、時期的に収穫間近であるため、収穫前日数に十分にも注意し、前回の薬剤散布から日数が経っていない場合は、近接散布にならないように気をつけてください。

・有効成分名や作用機作分類（IRAC コード）を参考に、連続して同系統の薬剤を散布しないようにしましょう。

●ナシの「ハダニ類＊」に登録のある薬剤の例 [最新登録日 2017/7/19]

＊コロマイト水和剤は、「カンザワハダニ」「ナミハダニ」での登録

薬剤名	希釈倍数・ 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	有効 成分名	有効成分の 総使用回数	IRAC コード
カネマイトフロアブル	1000～ 1500 倍	収穫前日 まで	1 回	アセナシル	1 回	20B
コテツフロアブル	2000～ 3000 倍	収穫前日 まで	3 回以内	クロルフェピル	3 回以内	13
コロマイト水和剤	2000 倍	収穫前日 まで	1 回	ミルベメクチン	1 回	6
スターマイトフロアブル	2000 倍	収穫前日 まで	1 回	シエピラフェン	1 回	25A
ダニコングフロアブル	2000 倍	収穫前日 まで	1 回	ピフルグミド	1 回	25B
マイトコーネフロアブル	1000～ 1500 倍	収穫前日 まで	1 回	ビフェゼート	1 回	20D

この資料の作成にあたっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する方は、必ず、使用する前にラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。また、農業の安全性評価に新たな手法として短期暴露評価が導入されることとなりました。それにとともない、農業によっては使用できなくなる作物が生じたり、使用方法の変更が行われる場合があります。短期暴露評価により使用方法が変更された農業は、農業容器のラベルに記載された使用方法ではなく、変更後の使用方法が記載されたメーカーのチラシ等、最新の情報に従って使用してください。最新の情報は、農業の販売店等や茨城県（エコ農業推進室）のホームページ等で確認してください。なお、農業散布の際は、周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意して下さい。